



国民の森林・国有林

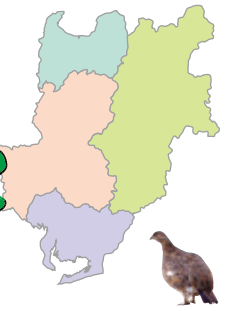
林野庁
中部森林管理局

〒380-8575長野市大字栗田715-5
☎050-3160-6513

<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>

広報

中部の森林



メールマガジン登録で本誌記事や観光情報のデジタル版を毎月お送りします。
登録サイト：<https://mailmag.maff.go.jp/m/entry>



7月の見どころ聴きどころ④—御嶽山合同開山祭で、響き渡るホルンの音色（岐阜のオサムさんからの投稿）

| | | |
|------|---------------------------|-----|
| 主な項目 | ○ 地元説明会を大鹿村と松川入地区で開催..... | P 1 |
| | ○ 各地からのたより | P 2 |
| | ○ シリーズ「ご当地自慢」 | P 5 |
| | 森林でのお仕事紹介コーナー | |
| | ☆「森林官からの便り」 | P 6 |
| | ☆「森林・林業界からの便り」 | P 7 |
| | ☆「林業土木業界からの便り」 | P 8 |
| | ○ 9月の見どころ聴きどころ | P 9 |

平成三十年度の地元説明会を
大鹿村と松川入地区で開催

「伊那谷総合治山事業所」

◆大鹿村の地元説明会

六月十八日、大鹿村役場において、今年度の大鹿村治山懇談会が開催され、大鹿村長、議長をはじめ役員関係者や全村議会議員が出席し、当所の職員が事業概要等の説明を行いました。

工事概要の説明後には、議員の皆様から「残土を他の工事の埋戻しに流用できないか」、「登山者等の迂回歩道を確保してほしい」といった個々の発注工事への要望や、「コンクリートブロック谷止工は背面土圧に耐えられるのか」、「地すべり変

状規模の解析調査結果について説明してほしい」といった専門的な質問など、村民の治山工事への関心の高さが窺われ



工事概要等を説明する立邊治山技術官

る質問が多く出され、当所職員の具体的な説明によって議員の皆様



復旧工事を進めている鶯ヶ巣治山工事箇所(全景)

の理解を得ることができました。懇談会の最後には大鹿村長から「中央構造線が縦断する村内の地質は極めて脆弱であることから、治山事業によって住民の安心・安全が確保されており、今後も治山事業の継続的な実施に取り組んでほしい」といった要望がありました。

◆松川入地の地元説明会

七月二十三日、松川入地区民有林直轄治山事業地内において、今年度事業の現地説明会が開催され、飯田市松川入財産区議員十名と飯田市林政課職員二名が出席し、当所の職員が事業概要等の説明を行いました。

当日は猛暑の中で、冒頭の所長挨拶の後に、崩壊地直下や対岸からの遠望などを行いながら、飯田

治山事業所の職員が、当年度の山腹工事の概要や既設工事箇所の復旧状況について説明を行いました。説明後には、議員の皆様から「こんな急傾斜地でこういった工法で緑化を行うのか」、「設計図と現地の地質が変わると、工法も変えて施工するのか」、「法切工が完了しても岩盤の一部がゴツゴツ残っているように見えるが安定しているのか」、「林道の法面の落石対策をお願いしたい」といった質問や要望が出されるなど、財産区議員の治山工事への関心の高さが窺われる意見が多く出されました。

また、説明会の最後には、財産区の議長さんから「今月初旬には三六災害並となる日雨量が三百ミリを超える豪雨があったが、この地域では治山施設が整備されているおかげで、他所のような土砂災害の発生もな

い



崩壊地直下で現地説明

く、事業の効果を感じている」といった言葉をいただき、半日の日程を終えました。

当所では、説明会でいただいたご意見を事業に生かしながら、引き続き効率的かつ効果的な治山事業を推進するとともに、職員の技術力向上に取り組んでいきたいと考えています。

高山植物を後世に遺すため
高山植物等保護
対策協議会総会を開催

「保全課」七月三十一日、中部森林管理局大会議室において、長野県内の国有林並びに民有林における高山植物等の保護と地域の美化を図り、将来にわたり国民の福祉に寄与することを目的とする「高山植物等保護対策協議会」の第五十七回総会が、長野県環境部自然保護課長をはじめ、環境省信越自然環境事務所、警察本部、教育委員会等行政機関、山岳・観光関係団体、五地区の協議会長等、総数計二十九名の出席のもと、開催されました。

平成二十九年度事業活動報告においては、同協議会がパトロール



啓発ポスター

また、平成三十年度事業計画については、立入禁止区域の明確化と維持管理や、登山初心者・外国人観光客に対する啓発活動、ニホンジカ等の被害状況・目撃情報の収集といった活動の柱が示され、出席者からは「シカの目撃情報を

も提起されました。また、平成三十年度事業計画については、立入禁止区域の明確化と維持管理や、登山初心者・外国人観光客に対する啓発活動、ニホンジカ等の被害状況・目撃情報の収集といった活動の柱が示され、出席者からは「シカの目撃情報を

を委嘱している高山植物等保護指導員により、高山植物の摘み取りや立入禁止区域への侵入など六百九件の指導が行われたことが報告され、「SNS投稿目的と考えられる写真撮影に伴う踏み荒らしが増加している」など、新たな課題も提起されました。



映像を使って活動報告

収集するに当たり、パトロールのみならず、宿泊施設などの協力を得て入り込み客からの情報提供を募ってはどうか」などの意見が出されました。

今後、夏山から秋の行楽シーズンを迎えます。引き続き各地区においてマナー等の指導・啓発活動に努め、国民共有の貴重な財産である高山植物等を後世に遺していくための取組を展開していきま

す。

各地からのたより

恵那山をはじめ山の魅力を発信

「東濃署」七月十二日、中津川市東美濃ふれあいセンターで、岐阜県・中津川市主催の「『山の日』シンポジウム in 中津川」郷土の山々の魅力を次世代へつないでいくために「」が行われ、約五百人が参加しました。

このシンポジウムは、恵那山をはじめとする山の魅力を発信するとともに、山への親しみを深める契機にしようことを目的とし

て開催され、最初に医師で登山家の今井通子氏が「山と健康づくり」と題して講演され、自然にはさまざまなセラピー効果があり、自然を楽しむことが健康につながるなど医学と登山活動で得た知識や体験談を交え説明されました。

最後に「地域の山の魅力（自然・歴史・文化）の継承」という

テーマでパネルディスカッションが行われ、当署から秋山署長がパネリストとして参加し、現在行っている国有林の取組や当署管内におけるレクリエーションの森の説

明などを行いました。

また、恵那神社宮司梅村氏が、恵那山の名前の由来は、天照大神が恵那山で生まれ、その胎盤が恵那山に埋められたとの伝説が由来であることなど、恵那山の歴史や文化について話されました。

今回のシンポジウムで、改めて恵那山を中心とした東濃の山々の魅力を感じ、親しみを深めることができました。

「中信署」林野庁と国土交通省が制定した「森と湖に親しむ旬間」のイベントとして、大町ダム管理所が、七月十四日、大町ダム管理所周辺で今年で三十一回の開催となる「高瀬渓谷フェスティバル 2018」を開催しました。

イベントの内容は、森林や湖に親しみながら心身をリフレッシュ

「森林や湖に親しみリフレッシュ 森林やダムなどの重要性を知って

「中信署」林野庁と国土交通省が制定した「森と湖に親しむ旬間」のイベントとして、大町ダム管理所が、七月十四日、大町ダム管理所周辺で今年で三十一回の開催となる「高瀬渓谷フェスティバル 2018」を開催しました。

イベントの内容は、森林や湖に親しみながら心身をリフレッシュ

「森林や湖に親しみリフレッシュ 森林やダムなどの重要性を知って

「中信署」林野庁と国土交通省が制定した「森と湖に親しむ旬間」のイベントとして、大町ダム管理所が、七月十四日、大町ダム管理所周辺で今年で三十一回の開催となる「高瀬渓谷フェスティバル 2018」を開催しました。

イベントの内容は、森林や湖に親しみながら心身をリフレッシュ

「森林や湖に親しみリフレッシュ 森林やダムなどの重要性を知って

「中信署」林野庁と国土交通省が制定した「森と湖に親しむ旬間」のイベントとして、大町ダム管理所が、七月十四日、大町ダム管理所周辺で今年で三十一回の開催となる「高瀬渓谷フェスティバル 2018」を開催しました。

イベントの内容は、森林や湖に親しみながら心身をリフレッシュ

「森林や湖に親しみリフレッシュ 森林やダムなどの重要性を知って

「中信署」林野庁と国土交通省が制定した「森と湖に親しむ旬間」のイベントとして、大町ダム管理所が、七月十四日、大町ダム管理所周辺で今年で三十一回の開催となる「高瀬渓谷フェスティバル 2018」を開催しました。

イベントの内容は、森林や湖に親しみながら心身をリフレッシュ

「森林や湖に親しみリフレッシュ 森林やダムなどの重要性を知って



元氣イッパイに丸太切り体験

連休の初日で晴天であったこともあり、全体では約七百五十人の

し、森林やダムなどの重要性について理解していただくため、実行委員会のメンバーである大町ダム管理所、中信森林管理署、国営アルプスあづみの公園、松本砂防事務所、長野県等関係自治体、地元企業やNPO法人等により、ダム見学や各種体験ブースを出展しました。



自分だけの木工品作りに熱中

参加者がありました。中信署ブースの、木の実などを使つての木工品作りや丸太切り体験は児童らに人気があり、大勢の親子連れが訪れました。お母さんは、お子さんの作品完成までの待ち時間に、押し葉などを葉書に貼って送ることができ、手作り葉書の作成体験をするなど、始終賑やかな雰囲気です。

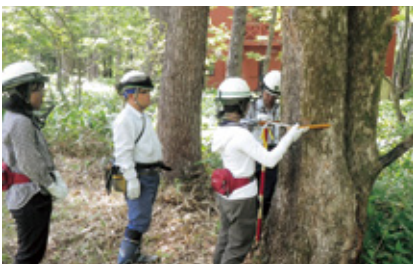
実際の現場について学ぶ！ インターンシップで就業体験

「中信署」七月十七日から二十日の四日間、岩手大学、宇都宮大学の学生二名を受け入れ、現場業務の就労体験を行いました。

今回のインターンシップは、国有林での具体的な業務と希望業務が体験できるカリキュラムで、一日目は上高地国有林（松本市上高地）で境界管理と収穫調査、二日目は籠川谷国有林（大町市）で治山工事箇所の出来型確認と小谷村での地すべり防止工事箇所の見学、三日目は美ヶ原国有林（松本市美ヶ原）で高山植物保護パト

ロールでの清掃美化活動と保護思想普及活動体験、ニホンジカ被害対策の電気柵設置箇所見学、四日目は前川国有林（松本市乗鞍）で野生生物保護管理体験等を行いました。

学生からは、「今回の実習を通して、大学の授業では学ぶことのできない実際の現場について学ぶことができた。境界標は国有林という国の財産を守っているとても大切なものであること、仕事としての森林の計測は、大学の実習とは比べものにならないくらい早さがもとめられること、人の命や生活を守る治山施設は、自ら測量、点検して、責任を持って監督していることを知ることができた」、「業務面だけでなく、転勤の頻度や生活スタイル、署の雰囲気について知ることができた。高山植物保護啓発等に重点を置いた実



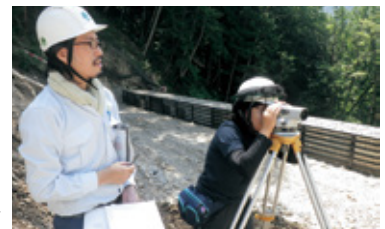
立木の収穫調査を実習

習としていただいたことがありがたかった。大学で学ぶことが現場でどう使われるか分かり、残りの学生生活をも大切に過ごそうと思った」との感想がありました。

今後も、次代を担う若者にインターンシップ等の機会を提供し、国有林野事業や林野行政に関心を持ってもらえる人材育成に努めていきたいと考えています。

馬瀬川溪流魚付き保全林をPR

「岐阜署」七月二十二日、下呂市が主催する、『ぎふ清流馬瀬川あゆまつり』の一角をお借りし、「馬瀬川溪流魚付き保全林」と、森林管理の必要性と川・水・魚の関係についてPR活動を実施しました。岐阜県下呂市を流れる一級河川馬瀬川上流部は、平成二十年に環境省の「平成の水百選」にも選ばれるなど、水質の良さで知ら



治山施設での測量実習

れています。一方、太公望の間では、鮎、イワナ、アマゴなど川魚釣りの好適地として全国的に有名な川のひとつです。

その馬瀬川において、川やその支流に生きる渓流魚の生息環境を守ることを目的に、下呂市（当時は、馬瀬村）と岐阜森林管理署とが協調し、地域独自の森林保全の取組である「馬瀬川渓流魚付き保全林」を指定しています。指定面積は、民有林約四七一畝、国有林約一、九一四畝の計約二、三八五畝ですが、これは、下呂市馬瀬地域の森林面積の約二六パーセントに相当します。

平成十五年に「馬瀬川渓流魚付き保全林」の指定が行われ約十五年が経過、これまで民国連絡会議等を通じて森林整備や普及活動を実施してきました。その間には市町村合併も行われていることか



岐阜森林管理署のPRコーナー



土壌の違いによる保水力を実験する兄弟

ら、平成二十九年二月二十四日に下呂市長と岐阜森林管理署長とが、改めて覚書の締結をしました。

来場された親子連れなどの皆さんからは「馬瀬に、そのような取組があったことを知れた」、「森林はとても大切だと思う」、「だから馬瀬の鮎は美味しい」といった声が聞かれ、これからも一層の「馬瀬川渓流魚付き保全林」の取組活動を、地域と連携しながら普及啓発に努めていきたいと思えます。

民国連携による林業の成長産業化を目指して勉強会

「岐阜署」七月二十四日、岐阜県七宗町上麻生地区森林共同施業団地（ケーススタディ地区）で、

「生産性向上対策現地検討会兼伐採・造林一貫作業システム勉強会」を開催しました。

今般、当地区において、新型高性能林業機械（タワーヤード）による皆伐事業を実施する機会を得たことから、請負林業事業者を対象とした「生産性向上対策現地検討会」を開催し、タワーヤードによる全木集材作業見学を通じて、生産性向上に重要な事業者の人材育成、技能向上の促進を図ることとしました。また、当該事業は、

伐採・造林一貫作業システムであることから、労働投入量縮減（低コスト生産・造林）を目指した勉強会も併せて実施し、民有林関係者（森林施業プランナー、林業普及指導員など）を含めた意見交換を行う中から、地域の木材生産に関する民・国、林業関係者の意識向上につなげることとしました。



タワーヤードによる全木集材作業を見学

第三期岐阜県森林づくり基本計画で「主伐・再造林の支援強化」を新規施策に掲げていますが、民有林はもとより、すでに平成二十五年度から試行を行っている国有林でも、まだ「伐採・造林一貫作業システム」の事例は十分とは言えない状況です。

今後、民国連携によるこのような勉強会等を通じ、林業の成長産業化へ向けた取組を進めていきます。

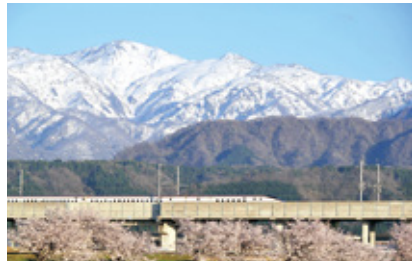


現地での意見交換会



朝日町は富山県の東端に位置し、東は新潟県、長野県と接しています。東南には町名の由来ともなった、朝日岳（二、四一八メートル）に始まり、白馬岳（二、九三二メートル）を主峰とする北アルプス連峰がそびえ、これらの山々に源を発する河川（小川、笹川、境川）が日本海に注いでいます。

森林面積は一九、九一六ヘクタール（平成二十五年年度）で町の総面積の八七・五％を占め、このうち一二、五五九ヘクタールは、中部山岳地帯の国有林となっています。



【朝日岳をのぞむ（桜並木と北陸新幹線）】

海岸線は九・四五キロメートルで、そのうち宮崎・境海岸の砂利浜は、ヒスイの原石が打ち上げられる「ヒスイ海岸」として全国にその名を知られています。

このように、朝日町は海拔〇メートルから三、〇〇〇メートル級の山々に至るダイナミックなパノラマが広がる自然に恵まれた町です。

〇ヒスイ海岸

朝日町の最東に位置する、幅一〇〇メートル、東西約四キロメートルにわたって広がる砂利浜の海岸です。美しいエメラルドグリーン



【ヒスイ海岸】

の自然海岸で、「日本の渚百選」、「快水浴場百選」に選定されています。

この海岸では、海からヒスイが打ち上げられます。日本のヒスイ産地は険しい山の中が殆どですが、楽しく安全にヒスイを拾うことができる世界的にも珍しい環境です。

冬の荒れた波に乗って、ヒスイが海岸に打ち上がり、荒れた日の三日後くらいが狙い目です。

〇白馬連山高山植物帯

三、〇〇〇

〇メートル級の高山が連なる地域は、地形の変化に富み、高山植物の豊富など、特別天然記念物に指定されています。



【朝日岳から富山平野の眺め】

白馬岳を頂点として、北には鉢ヶ岳・雪倉岳・朝日岳・長梅山、そして犬ヶ岳へと連なる稜線は富山・長野・新潟の県境となっています。

これらの山々は白馬岳以南とや山体を異にしていて、冬季の衝撃的な季節風の影響もあり、特別な気象条件となっています。このため、山頂・山稜では、高山風衝性低木群落、高山風衝草原、高山・高原・草原などが自然の美観を見せています。



また飛騨

山脈が南北に位置しており、山稜の西斜面は冬季季節風の風衝地で積雪地となり、東斜面は吹き溜まりや雪庇等の多雪地となり、そこにできる雪田植物群落は、長野・新潟の両側に多いものの、氷河時代にできた二重山稜は朝日町側に多く、特に朝日岳に多く見られます。



【高山植物（チングルマ）】

朝日岳を中心として、雪田植物群落亜高山性湿性植物群落、好湿性の口茎広葉草原がよく発達し、登山者を喜ばせています。

◆お問い合わせは、朝日町役場まで
☎〇七六五―八三一―一〇〇

土地です。が美しく広がる緑豊かな



北アルプスの山々

一般的に安曇平と呼ばれるこの地域は、北アルプス連峰の雄大な山々を源とする一級河川が数多く流れ、日本三大扇状地である神戸原扇状地が美しく広がる緑豊かな土地です。

シリーズ 「森林官からの便り」

国有林と言えば現場、現場と言えば森林官！しかし、一般の方には余り馴染みがないと思います。そこで各地にある森林事務所や地域の特徴、森林官の仕事などを紹介していきます。

中信署 松川森林事務所

森林官 吉村 暁美

日本最大規模の「大王わさび農場」と共に米処としても有名な安曇野は湧水が多く水処でもあります。湧水が多いということは扇状地の特徴でもあります。水の源である北アルプスや安曇野富士と称される有明山等からなる国有林があればこそだと言えます。

安曇野市内の国有林はコメツガを主体とした天然林が九割を占めています。人工林はカラマツやスギ、ヒノキの造林地です。ここ数年、植栽したヒノキのニホンジカによる食害が目立つようになり、昨年度からセンサーカメラによりニホンジカの動向を調査することにしました。また、少数ですが松くい虫被害もあり、国有林内や隣接の民有地に蔓延しないよう、伐倒燻蒸処理を行っています。

松川村内の馬羅尾国有林には、「あがりこサワラ」という珍しいサワラの巨木群があります。「あがりこ」とは東北地方の方言で、萌芽して育った樹木のことを指します。サワラは広葉樹に比べ、萌芽力が弱いのですが、台切した後に側

枝を直立に生長させることで肥大化し、奇怪な樹型を形成します。この貴重なあがりこサワラの巨木群約七ヶ所は松川村と協定を結び保護林（郷土の森）とし、村のシンボルとして保護管理してきました。また、保護林制度の見直しに伴い、国民参加の森づくり制度による「多様な活動の森」として、松川村と昨年度三月に協定を締結しました。



平田美紗子：画



保育園児に森林教室を行なう筆者

森林内において、自然観察会等の森林保全活動が円滑に実施され、地域に寄与する積極的な活用が図られていくよう、心掛けてい

ていきたいと思っています。 ■未来の担い手へのメッセージ 私は高校林業科入学から三十年余り林業に携わってきました。森林作りは人作りが私のモットーです。3Kと呼ばれる仕事ですが、世代を経て繋がる大変意義のある仕事だと思っています。若人よ来たれ林業へ！

最後になりました。ですが、この松川森林事務所は、私にとつて四箇所目の森林事務所森林官で、今までで最も長い任地になっています。今後とも地域に根ざし、地域との絆となるべく働きかけ

受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の植林や間伐などを行う森林・林業事業者からの投稿をもとに、「頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。」

シリーズ

「森林・林業界からの便り」



南ひだ森林組合

内木 稔

(二〇一五年入社)



林業用器械の前でハイポーズ(内木さん)

■事業の概要

請負事業・森林環境保全整備事業

業(保育間伐活用型)

大洞4)

発注者：岐阜森林管理署

地球温暖化防止策をはじめ森林の公益的機能の高度発揮のため、育成しようとしている樹木の一部を伐採して林分密度を調整する保育間伐と、資源の有効活用等を図るため、伐採木を造材し、作業ポイントまで搬出、集積する一連の事業です。

事業地は下呂市小坂町落合国有林の八十一〜百三年生のヒノキ人工林二五・〇五(素材生産量一、九〇〇立方メートル)で、一部百年生を超える林分は、天然力の活用により広葉樹等を導入して針広混交林等へ誘導することを目的とする育成受光伐を実施するなど多様な森林の整備を行っています。

■現場での役割・魅力

高性能林業機械を利用した搬出間伐を中心に、班の中で生産性を高めながら、森林所有者に喜んでもらえる山づくりや、森林整備の作業を通じて環境に貢献できる仕事にやりがいを感じています。

(※高性能林業機械…従来のチェーンソーや刈払機等の機械に比べて、作業の効率化、身体への負担の軽減等、性能が著しく高い

林業機械です)



高性能林業機械(ハーベスター)での伐木造材



木材搬出の様子

■森林・林業の世界に

入ったきっかけ

高校卒業後、愛知県名古屋市中で設備工事会社などで働いた後、自営で設備会社を営んでいました

が、家族と共に地元の下呂市萩原町へ帰って自然の中で体を動かせる仕事がしたいと考えて森林組合の森林技術者を選択しました。

■未来の担い手へのメッセージ

南ひだ森林組合には、森林整備班一班(六名)と林産班四班(二十名)があり、林産班は各四機(計十六機)の高性能林業機械を駆使して搬出間伐等の事業を行っています。

二十歳代の若い仲間も多く、平均年齢も四十五歳です。お互い話しやすい環境で仕事に取り組み中で、若くても努力が評価してもらえる職場だと思います。



林業器械(フォワーダー)で木材運搬中の内木さん

受注して下さる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の林道や治山工事などを行う林業土木事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。

シリーズ
「林業土木業界からの便り」

株式会社 笠原建設

中村 キヨ子
(一九九三年入社)



中村 キヨ子さん

■事業の概要

請負工事・蒲原沢復旧治山工事
発注者・中信森林管理署

蒲原沢下流部右岸側は、過去に発生した土石流による大規模崩壊地の植生復元を図るための復旧治

山工事です。

当工事は崩壊地上部の不安定な斜面を対象に施工した法面に厚層基材吹付けを行い、下部は長大斜面の安定を図るため、のり切工を実施しました。長大斜面ののり切工は、風化の進んだ不安定な地盤が施工対象であったため、作業の安全を確保するためロッククライミングマシンによる無人化施工に行いました。

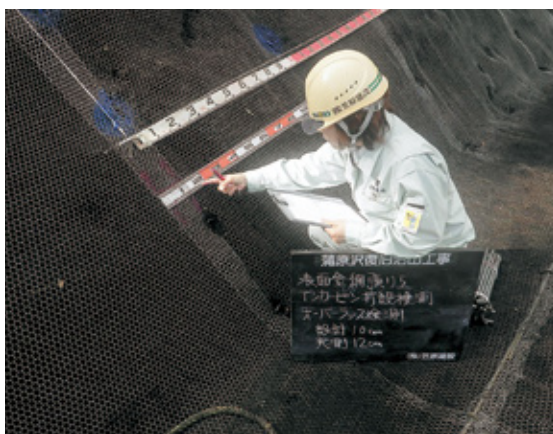


蒲原沢復旧治山工事箇所

■現場での役割・魅力

私は現場代理人兼、監理技術者として工事全体の施工管理を行いました。

現場の魅力は地域の人や協力業者の人等、沢山の出会いがあることと、季節の移り変わりの美しい景色の中で作業を行い工事が無事に完成した時の達成感を味わえることです。



施工工事の品質管理

■森林・林業の世界に

入ったきっかけ

私は入社時、主任技術者の書類や現場の測量の手伝いをする等、補助的な仕事を行っていました。が、図面に記載されている構造物が日々出来上がっていく様子や完成した構造物を見ていく中で、「私も手伝いではなく、初めから工事に携わってみたい。あの達成

感を味わってみたい」と思うようになったのがきっかけです。

■未来の担い手へのメッセージ

建設業は高齢化や人手不足等の問題を抱えており、今こそ若い人材が必要だと感じています。現場環境も快適トイレや設備の充実した休憩所の設置等で大幅に改善され、今では我社にも女性土木技術者が六名在籍し、日々現場で活躍しています。

今後の建設業を担うべく、若い力で活性化させることを期待します。



出来形確認中



上旬

①上旬 初秋の上高地

(中信署 松本市)

上高地は、一気に冷え込み始め、河童橋では初霜が降るときもあるほどです。この頃、田代池の草紅葉が美しい色合いを見せはじめ、九月下旬にはカラマツが黄金色に、涸沢のナナカマドが紅く色付きはじめます。



②9月上旬 中旬 黒姫高原スノーパーク (北信署 信濃町)

黒姫山の裾野に広がる一面のコスモス畑が見頃を迎えます。

③9月上旬 中旬 木島平やまびこの丘公園 (北信署 木島平村)

高社山山麓に広がる木島平やまびこの丘公園では、約一畝の広大な園地に、およそ二百六十種二万本のダリアが咲き誇ります。

④9月上旬 中旬 鏡池

(北信署 長野市)

戸隠連峰と周囲の山々が鏡彩る木々が鏡池の湖面に映り、その神秘的な美しさは絶景です。



⑤1 15日 星空観察会

イン乗鞍夫婦松 (飛騨署 高山市)

乗鞍夫婦松駐車場標高約二千メートル地点で、専門ガイドによる特別解説付きで星空観察会が開催されます。満天の星空は手の届きそうなくらいです。

(開催日1日、7日、8日、14日、15日)

⑥5日 林業大学校公開講座「きのこの話」 (木曽署 木曽町)

きのこ分類学、生態学の基礎、有名な食用きのこ・毒きのこ、きのこにまつわる迷信等について学習します。

開催場所・長野県林業大学校講堂(二十名程度、林大へ申し込みが必要)
⑦7日 2018戸隠古道大ウォーク

(北信署 長野市)

神様の杜・戸隠の古道を歩くイベント

で、戸隠神社一の鳥居から奥社まで歩きます。

戸隠神社一の鳥居 宝光社 中社 奥社 (歩行距離一四・二キロメートル)

⑧9日 ヒルクライム佐久

(東信署 佐久市)

佐久市洞源湖付近から蓼科仙境都市までの蓼科スカイラインを二三キロメートル走るレースです。(七・二キロメートルのシヨートコースもあります)グリーンシヤワーの中、佐久市の緑豊かな自然や健康長寿の里としての気候と風土を肌で感じてください。ビギナーから上級者まで楽しめる爽快なコースです。

⑨8 9日 寒水の掛踊り

(岐阜署 郡上市)

掛踊りとは、郡上市明宝寒水地区の白山神社に約三百年前から伝わる例祭で、世の平安・五穀豊穡を祈願する祭事です。祭りは地元男子のみ約百人の役者で構成され、見どころは、花で飾り付けた長さ四メートルのシナイを背負った若者が、歌の掛け合いにより勇壮に舞い踊ります(県重要無形民俗文化財、国指定選択民俗芸能)。



中旬

⑩15 17日 信越五岳トレイルランニングレース2018パタゴニアカップ

(北信署 飯山市ほか)

長野・新潟県境にある信越五岳(斑尾・妙高・黒姫・戸隠・飯綱)の裾野およそ一〇キロメートルを約千人のランナーが駆け抜けます。

⑪16日 「ツールド・西美濃2018」

(岐阜署 揖斐川町ほか)

岐阜県西濃地域二市九町の名所旧跡や自然、風景を楽しみながら自転車で行くサイクルイベントです。

およそ一三五キロメートルのコースに各市町が参加者を支援するおもてなしステーションが設けられ、ご当地の飲食や飲み物を用意、スタッフの思いやりの気持ち、おもてなしの心に接することで西美濃の魅力を更に感じていただけます。参加定員七百人。参加費八千円

⑫19日 国有林作業現場等視察交流会

(東濃署管内)

木材生産の主たる現場である上流域と流通、加工販売が主体の下流域、相互で現状を認識し連携を図ります。



下旬

⑬下旬 白馬の紅葉(中信署 白馬村)

場所によりりますが、通常九月下旬から十月下旬が見どころ。十月下旬になると山頂の雪の白、麓の紅葉の赤、針葉樹の緑の三色鮮やかな「三段紅葉」が楽しめます。是非、今年は白馬の「三段紅葉」を楽しんでみませんか。

⑭24日 与川の秋月観月会

(南木曾支署 南木曾町)

与川地区の古典庵跡の広場で夕刻から開催されます。周囲の地形とあいまって、大きくみごとな中秋の名月を眺めることができます。木曾八景の一つに選ばれている、秋の絶景です。

⑮26日 林業大学校公開講座「きのこ勉強会」

(木曾署 木曾町)

木曾町三岳の県有林内で、実際にはえているきのこを探し、分類や食用・毒の有無を学習します。

開催場所：木曾町三岳の県有林、マイクロバスで移動(二十名程度、林大へ申し込みが必要)

⑯29日 30日 第5回志賀高原ロングライド

(北信署 須坂市ほか)

自転車で山岳地帯を駆け巡るイベントで、志賀高原・木島平村・栄村・野沢温泉村・飯山市のおよそ一〇〇キロを走破します。

⑰29日 10月5日 樽池自然園紅葉まつり

(中信署 小谷村)

標高一、九〇〇以上の樽池自然園では、一足早い秋の訪れとなり、白馬の山々を背景に赤や黄金色の草紅葉、ダケカンバやナナカマドなどが見頃となりま



す。特産品の販売やキノコ汁の振舞いなど、各種催しが行われます。

⑱30日 第十回 信州戸隠トレイルランレース

(北信署 長野市ほか)

戸隠山と飯縄山に囲まれたおよそ六〇キロのコースを、約七百五十人のランナーが駆け抜けます。

⑲30日まで 小坂なシャワークライミング

(岐阜署 下呂市)

滝の数日本一を誇る下呂市小坂町、そのほとんどは岐阜署管内落合国有林内に所在しています。すが、この滝を利用し初心者から経験者



までもが楽しめるアクティビティな体験ツアーがあります。

大きな淵(プールのような場所)ではジャンプして飛び込んだり、天然のウォータースライダーで激流を流れ下ったり、清流をまるで「おさかな(お魚)」のように泳ぎ、飛び跳ねまわるそんな自然と一体になる「究極・全力の川遊び」です。

⑳31日まで ひのきの里上松フォトコンテスト

(木曾署 上松町)

上松町の民俗芸能、自然の風景や森林鉄道など、様々な被写体でご応募ください。

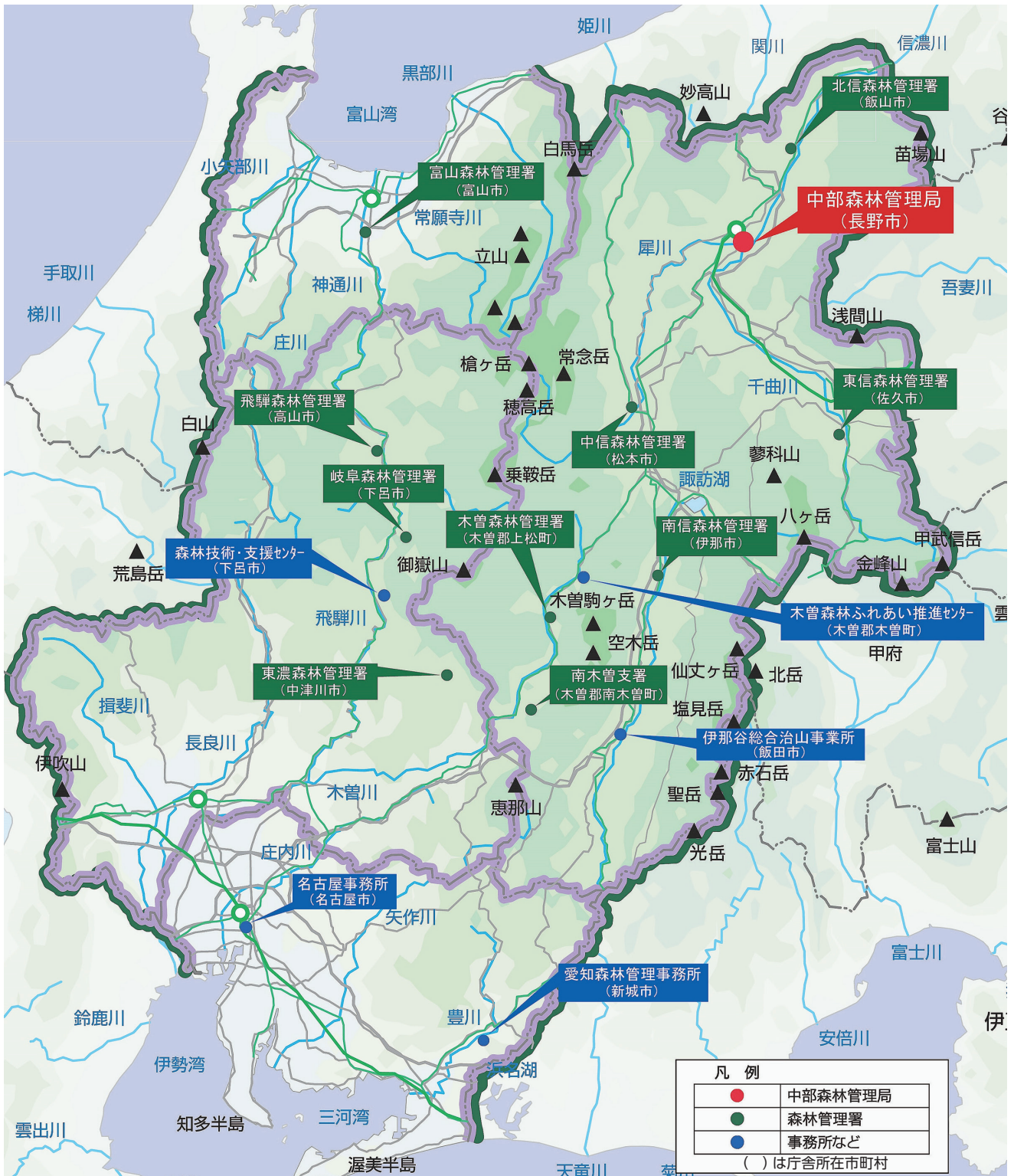
九月末の締め切り後、十月に審査会が行われます(応募要項は上松町観光協会HPを確認してください)。



編集長だより あなたの写真を！お待ちしております

- ☆まだまだ暑い日が続いていますが、山では、少しずつ秋の気配がしてくる時期です。
- ☆一足先に秋を感じに、国有林へ出掛けてみませんか。ステキな写真が撮れましたらmigor@maff.go.jpまで電子メールでお送りください。(1メール容量2MB以内)
- ☆特にステキな写真は、広報誌「中部の森林」の表紙に掲載し紹介させていただきます。あなたの写真が来月号の表紙を飾るかもしれません。投稿をお待ちしております。

- ご投稿には、氏名又はニックネーム、整理番号(9月なら①～⑳のいずれか)、撮影日を記入してお送りください。感想やコメントを添えていただいても構いません。
- ☆森林でのお仕事紹介コーナーを新設しました。学生さんの進路検討の参考になると嬉しいです。出前での就職説明会も出来ますので、お気軽に最終ページのお問合せ先へご相談ください。



お問い合わせ先 中部森林管理局 〒380-8575 長野県長野市大字栗田715-5 TEL 050-3160-6507 FAX 026-236-2657

| | | | | |
|----------------|-----------|----------------------|-------------------|------------------|
| 名古屋事務所 | 〒456-8620 | 愛知県名古屋市中区熱田区熱田西町1-20 | TEL 050-3160-6660 | FAX 052-683-9269 |
| 富山森林管理署 | 〒939-8214 | 富山県富山市黒崎字塚田割591-2 | TEL 050-3160-6080 | FAX 076-424-4934 |
| 北信森林管理署 | 〒389-2253 | 長野県飯山市大字飯山1090-1 | TEL 050-3160-6045 | FAX 0269-62-4144 |
| 中信森林管理署 | 〒390-0852 | 長野県松本市島立1256-1 | TEL 050-3160-6050 | FAX 0263-47-4754 |
| 東信森林管理署 | 〒384-0301 | 長野県佐久市白田1822 | TEL 050-3160-6055 | FAX 0267-82-6959 |
| 南信森林管理署 | 〒396-0023 | 長野県伊那市山寺1499-1 | TEL 050-3160-6060 | FAX 0265-72-7774 |
| 木曾森林管理署 | 〒399-5604 | 長野県木曾郡上松町正島町1-4-1 | TEL 050-3160-6065 | FAX 0264-52-2582 |
| ※南木曾支署 | 〒399-5302 | 長野県木曾郡南木曾町吾妻3859-39 | TEL 050-3160-6070 | FAX 0264-57-2686 |
| 飛騨森林管理署 | 〒506-0031 | 岐阜県高山市西之一色町3丁目747-3 | TEL 050-3160-6085 | FAX 0577-34-8932 |
| 岐阜森林管理署 | 〒509-3106 | 岐阜県下呂市小坂町大島1643-2 | TEL 050-3160-6090 | FAX 0576-62-2503 |
| 東濃森林管理署 | 〒508-0351 | 岐阜県中津川市付知町8577-4 | TEL 050-3160-5675 | FAX 0573-82-2109 |
| 愛知森林管理事務所 | 〒441-1331 | 愛知県新城市庭野字東萩野49-2 | TEL 0536-22-1101 | FAX 0536-23-2254 |
| 森林技術・支援センター | 〒509-2202 | 岐阜県下呂市森876-1 | TEL 050-3160-6095 | FAX 0576-25-2420 |
| 木曾森林ふれあい推進センター | 〒397-0001 | 長野県木曾郡木曾町福島1250-7 | TEL 0264-22-2122 | FAX 0264-21-3151 |
| 伊那谷総合治山事業所 | 〒395-0001 | 長野県飯田市座光寺5152-1 | TEL 050-3160-6075 | FAX 0265-22-0149 |

※南木曾支署は平成31年1月（予定）まで庁舎工事のため上記に移転中です。